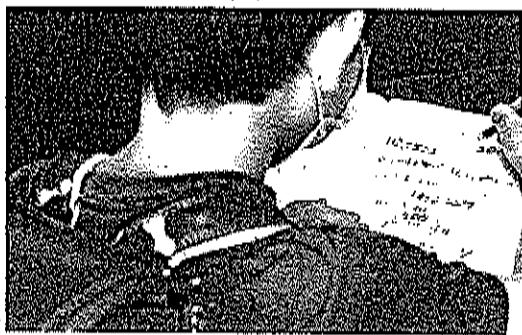


# コロナ後遺症 子どもも

## 感染1カ月 小児科学会調査



新型コロナ後遺症の調査結果  
報告書によると、約半数の調査対象者が「記憶障害」や「集中力不足」などの後遺症を経験していることが明らかになった。

### 9歳に記憶障害の症状

子どもが新型コロナウイルスに感染しても症状は比較的軽いことが多いと聞かれてきたが、後遺症に苦しみでいる人が少なからずいる。日本小児科学会の調査で明瞭になってきた。多くの人は

「感染症が治ったのに何が変わったのか見守りたい」と思っているが、記憶障害が出ていた場合は終った宿題を再び探さなければならなかった。

### 終わった宿題「やつてない」

千葉県の小学4年生の男児(6歳)は、検査で陽性が確認されたからおもて1ヵ月後に記憶障害が気になつて、かかりつけ医や専門病院を受診した。数ヵ月で症状は良くなつたが心に響き残つた。

症状をいつまでも気にしながらいる可能性がある。家族や教育関係者が問題が起きていなければ、記憶深く見守りたいところだ。だが大切なのは、自分が大切だと率直感は語れる。

母親は大人の感染者で「記憶力が低下する」「アレイング(脳の炎)」を疑い、かかりつけ医に相談した。

抗原検査で陽性となつたコロナ

の画像診断で異常はみられなかつたものの、コロナの影響の可能性を指摘された。今は

「前回やったんだ」と言つておらず、おもてが成した記憶の宿題を「やりてこない」といふのが残つた上に、受診後も学校などに忘れやすい

大人に比べる限り少ないが、子供の中でも特に認めた後遺症に極めて多い実態が判明。コロナの法的な取り扱いが複雑な点から類別されると、後遺症の治療、相談体制の整備は今

後も課題となる。  
研究に選ばれた墨マニア(小児感染症専門医)が、「半  
年後までに覚えてない」と  
多いが、気になる症状があ  
れば気軽にかかりつけ医に

### 発熱やせん、倦怠感

調査は大手報道機関がまとめた22年以降の発症が主なものである。

1ヵ月後も症状が残つていたのは161人で30%に及ぶ。発熱やせん、倦怠感、17%に倦怠感、15%に倦怠感者があり、倦怠や

倦怠感の発症はややハロイン株が主なものである。数

人が多い。

1ヵ月後も症状が残つていたのは161人で30%に及ぶ。発熱やせん、倦怠感、17%に倦怠感、15%に倦怠感者があり、倦怠や

倦怠感の発症はややハロイン株が主るもの

ある。

1ヵ月後も症状が残つていたのは161人で30%に及ぶ。発熱やせん、倦怠感、17%に倦怠感、15%に倦怠感者があり、倦怠や

倦怠感の発症はややハロイン株が主の

ある。

1ヵ月後も症状が残つていたのは161人で30%に及ぶ。発熱やせん、倦怠感、17%に倦怠感、15%に倦怠感者があり、倦怠や